

今週（2月19日から2月23日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は日銀当座預金残高が概ね360兆円台半ばで推移した。新積み期間に入って以降、出し手・取り手共に大きな変化は見られず、無担保コールO/N加重平均レートは概ね▲0.040%台の落ち着いた展開となった。業態別では、地銀業態で▲0.065～▲0.025%、証券業態で▲0.060～▲0.045%、信託業態で▲0.070～▲0.060%の出合いと、週を通してレート水準に大きな変化は見られなかった。ターム物に関してはロール案件を中心に地銀業態でショートターム▲0.025%程度の出合いが見られていた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは、22日に2W・8,000億円がオファーされ、落札額1,253億円（期落ち額803億円）の札割れとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、週を通して投資家のオファーが少なく、業者の玉確保ニーズが強かったことから、レートは低位で推移した。

19日、20日のS/Nは、▲0.105～▲0.10%と低位での出合い。翌21日は、日銀買入れオペを受けて、業者のビッドニーズがより強まり、▲0.11～▲0.10%での出合いと、レートは小幅低下した。翌22日は、短国3M物の発行日だったものの、オファーが増えず、引き続き業者のビッドニーズがしっかりしていたことから、レートはさらに低下して、▲0.125～▲0.115%での出合いとなった。23日は、この日のT/Nで業者勢のオファーが見えたことを受けて、前日より小幅レートは上昇して、▲0.12～▲0.11%での出合いだった。

SCについては引き続き10Yの330番から340番台でタイトなレートで取引される銘柄が多く見られた。個別銘柄では2Y383～385、5Y130～134、10Y334～349、などのカレント近辺の銘柄にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は、期末越えの担保需要や海外勢の買い期待からか、全般的に強含みの相場展開となった。

22日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.175%から▲0.205%に買い進まれる展開となる中、平均落札利回り▲0.1880%、按分落札利回り▲0.1764%とWI取引の影響を受け、事前予想よりやや強めの決着となった。セカンダリーでは▲0.182～▲0.180%出合いと小動きで推移した。

短国買入オペは19日と23日の2回実施された。19日は、7,500億円でオファーされた。平均落札利回り較差+0.002%、按分落札利回り較差+0.001%と前回からオファー額は5,000億円減額されたものの、堅調な結果となった。23日は、事前予想通りの2,500億円でオファーされた。平均落札利回り較差±0.000%、按分落札利回り較差▲0.002%と品薄感を反映し、引き続き堅調な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、25日にかかる発行、月末の前倒し発行があり、機械、商社・鉄鋼業態等の大型発行が見られ、週間償還総額約2,600億円に対し、週間発行総額は約6,900億円程度と発行超となった。市場全体の残高は17兆円台半ばでの推移となっている。15日のCP等買入オペの足切水準が▲0.005%まで低下したことを受けて、玉確保のニーズが強まり、a-1格以上の発行レートは、期内物で▲0.004～0%近辺、期越物で▲0.010～▲0.003%近辺での出合いと、レートを切り下げる展開となった。

23日にはCP等買入オペが2,500億円で実施された。特定銘柄が応札されたと見られ、平均落札レートこそ▲0.001%と前回比で上昇したものの、按分落札レートは▲0.007%とマーケットの需給を反映して前回比で小幅低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/19 (月)	22,149.21	0.055	106.33	△ 0.044	△ 0.097	3,668,100
2/20 (火)	21,925.10	0.060	106.78	△ 0.045	△ 0.098	3,648,200
2/21 (水)	21,970.81	0.051	107.50	△ 0.048	△ 0.099	3,660,300
2/22 (木)	21,736.44	0.050	107.35	△ 0.048	△ 0.128	3,649,400
2/23 (金)	21,892.78	0.045	106.90	△ 0.046	△ 0.109	3,661,800

来週（2月26日から3月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/26 (月)	12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				1月の米新築一戸建て販売件数
2/27 (火)		2Y 22,000億円 3/15発行	交付税借入 10,500億円 3/8借入		12月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 1月の米耐久財新規受注
2/28 (水)	1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 1月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 1月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				10-12月期の米GDP改定値 2月の米CB消費者信頼感指数 2月のシカゴPM景況感指数 2月のユーロ圏消費者物価指数速報値
3/1 (木)	岡山県金融経済懇談会にて片岡審議委員講演 10-12月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 2月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB3M 44,000億円 3/5発行	10Y 23,000億円 3/20発行	交付税借入 10,500億円 3/13借入	1月の米個人所得・消費支出 2月のISM 製造業景況指数
3/2 (金)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 1月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月のマネタリーベース(日銀 8:50)				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/26 (月)	0	▲ 16,900	▲ 16,900	全店共通 CP買入 社債買入 ETF買入 国債補完	▲ 800 ▲ 700 500	1,300 1,000 500	1,800	▲ 15,100	TB3M発行▲44000償還38200 20Y発行▲10000 国有林野借入▲1000償還900
2/27 (火)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000	国債買入 短国買入		8,500 2,500	11,000	7,000	
2/28 (水)	▲ 400	4,700	4,300	CP買入		2,500	2,500	6,800	交付税借入▲10500期日10500
3/1 (木)	▲ 1,000	▲ 10,000	▲ 11,000				0	▲ 11,000	財政融資資金の回収 税・保険料揚げの前倒し
3/2 (金)	▲ 1,000	▲ 43,000	▲ 44,000	成長基盤	▲ 400		▲ 400	▲ 44,400	税・保険料揚げ
週間合計	▲ 3,400	▲ 68,200	▲ 71,600	—	▲ 1,400	16,300	14,900	▲ 56,700	

2/26は日銀予想、2/27以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、27日までは無担保コールO/Nレートは横ばいとなることが予想される。月末にあたる28日は取り手の減少に伴いレートは低下すると見られる。一方で、3月に入ってから2日の税揚げが意識され、強含みの展開が予想される。

レボ市場は、担保確保ニーズの動向が注目される。

短国市場は、3月1日に3M物の入札が実施予定となっており、引き続き担保需要や海外勢の動向が注目されるが、レート水準が低下していることもあり、慎重な展開が予想される。

CP市場は、月末に向け、発行が活発になることが期待される。23日のオペの結果が落札水準にどのような影響を及ぼすかが注目される。

主要なイベントとしては、28日に10-12月期の米GDP改定値、2月のユーロ圏CPI、3月1日に米個人所得・消費支出、3月2日に2月の都区部CPIが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。